

# 令和6年度 課の運営方針書

産業振興部 水産振興課

## 1 課の運営方針

### 【課の使命】

水産物の安定供給と漁港施設の長寿命化に取り組み、安全で活力のある漁村づくりを推進します。

### 【課の目標】

- ① 水産振興のための資源の確保  
稚魚の放流やタコツボの設置により、「つくり育てる漁業」の推進を図ります。
- ② 新規漁業就業者の確保・育成  
水産業を支える担い手の確保・育成を図ります。
- ③ 施設の機能保全・長寿命化  
漁業生産活動の安全性確保や効率化等を図るため、基盤である漁港施設及び海岸保全施設の整備を計画的に推進するとともに、適切な維持管理を行います。
- ④ ブルーカーボン生態系の創出・拡大  
ブルーカーボン生態系による環境と調和のとれた持続可能なブルーエコノミーの推進を図ります。
- ⑤ 水産物市場の安定的な経営  
水産物市場において市民への安心安全な水産物の安定的な供給と計画的な修繕と改修による長寿命化を図ります。

### 【行財政改革への取組み】

漁港施設及び海岸保全施設等の整備については、積極的に国庫補助制度を活用し、また施設の維持管理においては、効率的な予防保全型維持管理により施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減に努めます。

## 2 担当(係)の使命(果たす役割)

- (水産担当) 水産業・漁村地域の振興及び水産物の加工・流通を促進します。  
(漁港担当) 漁港・海岸保全施設の維持管理を長寿命化計画に基づき行います。  
(水産物市場担当) 水産物市場の管理運営及び施設維持管理を適切に行います。

## 3 課の経営資源

### (1) 課の体制

職員数	12 人	うち	正職員	8 人	・	会計年度 任用職員	4 人	人件費	正職員	57,648 千円	会計年度 任用職員	2,182 千円
-----	------	----	-----	-----	---	--------------	-----	-----	-----	-----------	--------------	----------

※R4職員平均給与( 7,206 千円)ベース

※予算計上額

### (2) 事業規模

歳入予算額	378,470 千円	歳出予算額	454,912 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	21 事業
-------	------------	-------	------------	-------------	---------	-------

## 4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	6 産業・観光 1 農林水産業の振興 2 生産基盤の整備	●水産資源の確保と漁獲量の増加を目指し、稚魚の放流や産卵用たこつぼの設置を実施します。
2	6 産業・観光 1 農林水産業の振興 1 新たな担い手の育成と確保	●新規漁業者の育成や経営安定対策などにより、水産業を支える担い手の確保を図ります。
3	4 安心安全 1 災害に強いまちづくりの促進 4 津波・高潮対策の推進	●海岸保全施設長寿命化計画に基づき、対策工事を実施し、背後地を災害から防護する機能を長期的に確保します。 ●漁港施設の長寿命化計画に基づき、機能保全対策工事を実施し、漁村地域の環境改善を図ります。
4	6 産業・観光 1 農林水産業の振興 2 生産基盤の整備	●大島干潟でのブルーカーボン生態系を増やし、徳山下松港内の他地域にもブルーカーボンを拡大します。 ●ブルーカーボンの取り組みを水産振興と地域貢献に繋げます。 ●京都大学、漁協との連携事業「高速でCO2を固定化する大型藻類の利用技術の研究開発」に協力します。
5	6 産業・観光 1 農林水産業の振興 2 生産基盤の整備	●漁船とプレジャーボートの利用調整を図るためのフィッシャリーナ施設の利用を進め、開かれた魅力ある漁村づくりを目指します。 ●魚礁の設置、漁場の環境保全を推進し、生産基盤の整備を図ります。
6	6 産業・観光 1 農林水産業の振興 3 生産体制の強化と販路の拡大	●市民への安心安全な水産物の安定的な供給を行います。 ●水産物の消費拡大のため、魚食普及活動やPR活動等を行います。 ●水産物市場においては、施設の老朽化に対し、計画的な修繕・改修を実施し、施設の長寿命化を図ります。
7	6 産業・観光 2 地域ブランドの推進 2 6次産業化の推進	●地元の水産物や加工品を利用した水産物ブランドのPR活動や情報発信を行います。 ●しゅうなんおさかな大使が行うPR活動や情報・魅力の発信に協力し、地域の漁業振興を図ります。